

# ここが聞きたい!!

5名が登壇

## 環境問題に率先垂範する町として!

尾元 武 議員

**問** 現在進捗中の公共下水、集落排水事業も順調に進み、残すところ安下庄及び秋地区のみとなったところ。水質汚染等の環境問題への取り組み、また快適な生活環境でより一層文化的に向上した生活を営むためには、下水道、排水設備の完備は欠かせない条件である。裏腹に、現状は人口、世帯数の減少、また受益者負担を原則とする中、やむを得ぬ料金の改正、それ以前に現在の財政を圧迫する膨大な事業費及び維持管理に係わる経費等当面の課題があるのも現実である。そこで環



境問題に率先垂範する町として、定住促進を願う町の受け皿として、また均衡ある町の発展を願う立場として今後進めて行かな



完成した沖浦東地区浄化センター

ければならない主要事業と思われるが、町当局の今後の計画、また方向性を尋ねたい。  
**答** 今後の計画としては、久賀、棕野地区は久賀処理区として、また小松、屋代、小松開作、三蒲地区は大島処理区、東和の西方、船越、外入地区は三ヶ浦処理区としてそれぞれ集合処理区設定されており、公共下水事業で計画されている。この事業の新規事業採択要件は、1町1事業の原則があり、継続中の工事の進捗状況も含め、新規着工地域を検討している。ご理解を頂きたい。

## 妊婦無料検診の増大を!

松井 岑雄 議員

**問** 周防大島町に於いて、妊婦健康診断無料券を10回程度発行すべきではないか? 又、里帰り出産される方にも適応し、実施すべきである。



**答** 周防大島町に於いては、妊婦健康診断無料券は、5回の発行を行う。県内在住の里帰り出産も同様に適応する。

**問** 現在、小学校3年生までは医療費は無料であるが、中学校3年生までを対象に無料化し、子育て世帯の応援と定住促進策としたら、若者世代により住みやすい町として

評価されるか?

**答** 小学校3年生までの無料化を当町では実施しているが、更に引き上げて、小学校6年生までの周防大島町に在住する児童について、医療費の無料化を実施する。子育て世帯の応援と定住促進策及び若者世代にも住みやすい周防大島町としたい。



和やかなクリスマス会